

平成31年産水稻の10a 当たり平年収量（案） （1.70ミリ基準ベース）

平成31年 3 月
統 計 部

1 全国値 533kg（＋1 kg）

2 都道府県値

前年から変動した都道府県は以下の11県である。

○増加した道県（11県）

青森県（＋2 kg）、岩手県（＋1 kg）、宮城県（＋2 kg）、

福島県（＋1 kg）、群馬県（＋3 kg）、千葉県（＋2 kg）、

新潟県（＋1 kg）、富山県（＋2 kg）、和歌山県（＋2 kg）、

広島県（＋3 kg）、長崎県（＋2 kg）

平成31年産水稻の10 a 当たり 平年収量

単位:kg

都 道 府 県	平 年 収 量					対 前 年 差	主 な 生 産 事 情
	H 27	28	29	30	31 (案)		
青 森	584	586	589	590	592	2	①収量水準の高い「まっしぐら」が増加傾向であること、②近年、1㎡当たり全もみ数が増加していること等
岩 手	533	534	535	536	537	1	「あきたこまち」が減少傾向であるものの、収量水準の高い「銀河のしずく」が増加傾向であること等
宮 城	530	531	533	534	536	2	①「ひとめぼれ」は減少傾向であるものの、収量水準の高い「つや姫」及び「萌えみのり」が増加傾向であること、②近年、1㎡当たり全もみ数が増加していること等
福 島	542	542	543	544	545	1	①「コシヒカリ」及び「ひとめぼれ」は減少傾向であるものの、収量水準の高い「天のつぶ」が増加傾向であること、②近年、1㎡当たり全もみ数が増加していること等
群 馬	494	495	495	495	498	3	①「ゴロビカリ」が減少傾向であるものの、収量水準が高い「ゆめまつり」が増加傾向であること、②近年、1㎡当たり全もみ数が増加していること等
千 葉	535	535	538	540	542	2	①収量水準の高い「ふさこがね」及び「ふさおとめ」が増加傾向であること、②近年、1㎡当たり全もみ数が増加していること等
新 潟	540	541	543	543	544	1	①「コシヒカリ」は減少傾向であるものの、収量水準の高い「ゆきん子舞」が増加傾向であること、②近年、1㎡当たり全もみ数が増加していること等
富 山	537	539	540	540	542	2	①「コシヒカリ」は減少傾向であるものの、収量水準の高い晩生種の「てんこもり」が増加傾向であること、②平成25年から栽培密度70株/3.3㎡の確保が進んだ結果、1㎡当たり株数が増加し、1㎡当たり全もみ数も増加していること等
和歌山	495	495	495	495	497	2	①「イクヒカリ」及び「日本晴」は減少傾向であるものの、収量水準が高い「きぬむすめ」が増加傾向であること、②近年、1㎡当たり全もみ数が増加していること等
広 島	523	523	523	523	526	3	「ヒノヒカリ」が減少傾向にあるものの、収量水準の高い「あきさかり」が増加傾向であること等
長 崎	479	479	480	480	482	2	①「ヒノヒカリ」が減少傾向にあるものの、収量水準の高い「にこまる」及び「なつほのか」が増加傾向であること、②近年、1㎡当たり全もみ数が増加していること等

平成31年産水稻の全国及び都道府県別10a 当たり平年収量（案）

1 1.70mm基準ベース

2 農家等が使用しているふるい目幅ベース

単位：kg

全 国 都道府県	10a当たり 平年収量	前年産 対 差	10a当たり 平年収量	前年産 対 差
全 国	533	1	519	0
北海道	548	0	532	0
青 森	592	2	575	2
岩 手	537	1	522	0
宮 城	536	2	522	2
秋 田	573	0	554	0
山 形	596	0	580	0
福 島	545	1	529	1
茨 城	524	0	515	0
栃 木	540	0	529	1
群 馬	498	3	482	3
埼 玉	490	0	476	0
千 葉	542	2	532	2
東 京	414	0	404	0
神奈川	494	0	478	△ 1
新 潟	544	1	528	1
富 山	542	2	528	1
石 川	520	0	506	0
福 井	519	0	499	△ 1
山 梨	547	0	533	0
長 野	619	0	607	0
岐 阜	488	0	478	0
静 岡	521	0	513	0
愛 知	507	0	499	0
三 重	500	0	489	0
滋 賀	518	0	506	0
京 都	511	0	501	0
大 阪	495	0	480	0
兵 庫	502	0	489	△ 1
奈 良	513	0	500	0
和歌山	497	2	486	2
鳥 取	514	0	504	0
島 根	511	0	502	0
岡 山	526	0	514	0
広 島	526	3	515	2
山 口	504	0	492	0
徳 島	474	0	469	0
香 川	496	0	491	0
愛 媛	498	0	492	△ 1
高 知	458	0	454	0
福 岡	496	0	477	△ 1
佐 賀	519	0	503	0
長 崎	482	2	464	1
熊 本	513	0	497	0
大 分	502	0	480	0
宮 崎	496	0	482	0
鹿児島	482	0	468	△ 1
沖 縄	309	0	306	0

注：1 2の農家等が使用しているふるい目幅ベースとは、当該農業地域において9割以上の農家等が使用しているふるい目幅（北海道、東北及び北陸は1.85mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80mm、四国及び沖縄は1.75mm）で選別された玄米を基に算出した数値である。

2 平成31年産水稻の作柄表示地帯別10a 当たり平年収量については、6月末頃を目途に決定する。